

平成26年度  
北斗文化学園インターナショナル調理技術専門学校

自己評価報告

平成27年4月

学校法人北斗文化学園  
北斗文化学園インターナショナル  
調理技術専門学校

## ■平成26年度 自己評価について

ここに、本年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校を客観的に検証、評価し、改善点を見出し、一教育機関として特色ある学校づくりへ向けて教職員等関係者が一丸となって取り組むことにあります。更には、有為な人材を業界に送り出し、業界の発展に寄与することにあります。今後、自己評価を行うことで、更なる実践的な職業教育の水準向上に努めて参ります。そして委員会メンバーは勿論とこと、教職員、学校関係者、企業や関係団体等の皆様のご理解、ご協力をいただき、今後の教育活動を展開して参りたいと考えておりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

### 1、実施期間

平成26年4月1日～平成27年3月31日

### 2、実施方法

- (1) 学内に「学校自己評価委員会」を設置し、委員会メンバーを中心に教職員が連携して評価を行います。
- (2) 評価は『専修学校における学校評価ガイドライン（平成27年3月）』を参考にしています。
- (3) 評価は、年度終了後速やかに行い、年1回行うこととします。
- (4) 評価結果は、現状と今後の改善、解決に向けた取組み等を記載し公開します。

### 3、自己評価の項目

自己評価は、以下の11項目を実施します。

- |                   |           |            |
|-------------------|-----------|------------|
| (1) 教育理念、目的、育成人材像 | (2) 学校運営  | (3) 教育活動   |
| (4) 学修、教育成果       | (5) 学生支援  | (6) 教育環境   |
| (7) 学生の募集と受入      | (8) 財務    | (9) 法令等の遵守 |
| (10) 社会貢献         | (12) 国際交流 |            |

### 4、評価項目に対する評価

評価は、5～1の点数で記載します。

- 5：適切（又は実施）      4：ほぼ適切（ほぼ実施）      3：普通  
2：やや不適切（少し実施）      1：不適切（実施していない）

## ■基準1 教育理念、目的、育成人材像

---

本校は、昭和16年創立の室蘭文化洋裁女学院を前身校であり、昭和41年度より、指定調理師養成施設としての認可を受け、「一般課程調理師科」として開設されました。北斗文化学園の設置校として、平成11年度より、二年制専門課程となり、進む調理師業界の国際化に対応すべく、平成16年度からフランス共和国国立の調理専門学校と正式に学務提携を締結し、相互に交流を重ねて参りました。

平成20年度より独立校化し、現在は、北海道胆振日高管内唯一の衛生分野（調理師）の人材育成に取り組んでいます。常に、教育理念はもとより、育成人材像、教育目的等を学園グループ全

体として明確にし、公表しています。

### (1) 評価項目

評価項目		評価（5～1）
01	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	5
02	学校における職業教育の特色として挙げられるものがあるか	5
03	業界のニーズ等を踏まえた学校の中期的な将来構想を抱いているか	4
04	学校の理念・目的・育成人材像・特色など、学生・保護者等に周知されているか	4
05	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

### (2) 評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①教育理念、教育目的、教育目標、育成人材像等は、教職員、学生、非常勤講師、保護者等に周知され、入学案内書、ホームページ及び教育指導書『学校生活案内』（学生用）、『教育指導概要』（講師用）等を通じて公表している。
- ②学生に対しては、オリエンテーション等で具体的な説明を加え周知している。
- ③保護者に対しては、教育理念、学校の教育に関する基本的な考え方等を、入学案内書、保護者説明会、入学式における校長式辞、教育部長講話、機関紙等で周知している。
- ④学校の特色は不変ではなく、時代の変化、社会の変化に伴い積み上げてゆくものであると理解し今後も取り組んでいく。
- ⑤学校の3年から5年程度先の中期的将来構想は、具体的な計画やその方法に重点を置き取り組んでいく必要がある。

## ■基準2 学校運営

### (1) 評価項目

評価項目		評価（5～1）
01	学校の目的等に沿った運営方針が策定されているか	5

02	事業計画を定め、それに沿って運営方針が策定され実行されているか	5
03	運営組織や意思決定機能は、明確化され有効に機能しているか	5
04	人事、給与に関する規定等は整備されているか	5
05	学校組織の運営、意思決定システムは整備されているか	5
06	法令等を遵守するコンプライアンス体制が整備されているか	4
07	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

## (2) 評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①学校の運営方針は、年度開始前の3月下旬に開催する教職員全体会議において、校長より発表され、教職員全員に周知、徹底されている。
- ②毎年度、学校の目的や目標を明確にし、各部署で「重点計画」を策定し、その達成に向け業務が行われている。
- ③事業計画、収支予算を策定し、理事会、評議員会や事務局会議(学校全体の幹部会議)、更には全体会議(教職員全体会議)等を通じて、その進捗状況を把握できるようにしている。
- ④人事及び給与に関する規定は整備され、規定に沿って行われている。
- ⑤意思決定のプロセス、システム等は、主に主要会議等において決定され実施している。
- ⑥年に一度人事考課を実施し昇進、昇格の参考にしている。
- ⑦本校独自の学生管理システムを導入し、業務の効率化を進めており、システムが円滑かつ有効に機能しているか適宜検証している。

## ■基準3 教育活動

### (1) 評価項目

評価項目		評価(5~1)
01	教育理念に沿った教育課程の編成が策定されているか	5
02	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベル、学習時間の確保は明確にされているか	5
03	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
04	職業観を育成しキャリア教育の視点に立ったカリキュラム編成や教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
05	関連分野における実践的な職業教育(産学連携による実習、研修等)が体系的に位置づけられているか	5
06	授業計画(シラバス)を作成し、授業計画の確認、授業進捗管理、年間授業スケジュール管理を行っているか。	4
07	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5

08	授業評価の実施及び評価体制はあるか	5
09	人材育成目標の達成に向け、採用基準に則し授業、学生指導を円滑に行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
10	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するため、教職員の資質及び能力向上に対する研修等の取組は行われているか	4
11	授業計画、授業内容に則した教材を選定し、授業等で活用されているか	4
12	資格取得等に関する指導体制は、体系的に位置づけられているか	4

## (2) 評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①教育理念を基本としたカリキュラム編成がなされている。
- ②各科の教育目標、育成人材像、特徴は明確に定められている。
- ③各科のカリキュラムは、目標達成に向けて体系的に編成されている。
- ④各科目の指導内容、講義内容を示したシラバスに基づき年間の授業を行っている。
- ⑤学生によるアンケートを実施し全体、学年及び授業毎の状況を把握し改善を図っている。
- ⑥学生による学校生活アンケートを実施し全体及びクラスの状況を把握し改善を図っている。
- ⑦教職員の資質向上、能力向上のため、外部セミナー、研修会等の参加を奨励している。
- ⑧カリキュラムは定期的に検証、見直しを行っている。
- ⑨資格取得目標を明確に定め、取得に向けた授業体制、サポート体制を実施している。
- ⑩教職員の採用、確保については、採用基準を定め公募を基本に適切な判断に基づき行っている。
- ⑪教員の教授方法、授業内容確認のため、教育部責任者(教育部長又は教務室長)が定期的に授業見学を実施し、授業運営に関する助言を行っている。

## ■基準4 学修、教育成果

### (1) 評価項目

評価項目		評価(5～1)
01	進路決定率、企業内定率、業界就職内定率等、向上が図られているか	5
02	奨励する検定試験等の合格率、資格収録率の向上が図られているか	4
03	退学率低減に向けての取組みが図られているか	4
04	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
05	業界で活躍する卒業生を招聘し、在校生に対する職業意識の向上のための講話や体験談等を実施する機会を設けているか	5

### (2) 評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①進路決定率向上への取組みは、進路指導室スタッフと担任が連携、協力し努めている。
- ②1年次より就職指導に関する授業、関連行事を実施し、意識付けを強化している。
- ③検定試験の合格率の状況、過去の推移は毎年正確に把握し向上に努めている。

- ④学内に「退学者対策委員会」を設置し、退学者の低減に取り組んでいる。
- ⑤在校生に対する卒業生講話を実施し、就職活動体験談や業界の魅力等を伝えている。

## ■基準5 学生支援

### (1) 評価項目

評価項目		評価（5～1）
01	就職、進学指導に関する支援体制は整備され有効に機能しているか	5
02	学生相談に関する体制は整備され有効に機能しているか	5
03	学生に対する奨学金等の経済的な支援体制は整備されているか	4
04	学生の健康管理を行い担う組織体制はあるか	4
05	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
06	学生の生活環境への支援は行われているか	5
07	保護者と定期的に連絡する体制を整え適切に連携しているか	4
08	卒業生への支援体制はあるか	4
09	外国人留学生に対する支援は行われているか	5

### (2) 評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①就職及び進学指導に関するガイダンス、行事等を実施し内容充実に努めている。
- ②校内企業説明会を積極的に利用し、内定に結び付ける支援体制を図っている。
- ③公的奨学金の他、公的融資制度の斡旋、授業料の分納を行い経済支援に努めている。
- ④学生からの各種相談に応じる専任者を配置し対応している。
- ⑤担当教員を配置し、活動希望者が発生した際に対応している。
- ⑥寄宿舎の斡旋は信頼のある業者を通じて物件を紹介し主に地方からの入学希望者に対応している。
- ⑦クラス担任を配置し保護者と適切に連携している。保護者に対して期末ごとの異動報告の送付、入学時に保護者就職説明会を開催し、学校からの情報を的確に伝えている。
- ⑧卒業生に対する支援体制として、同窓会を組織化し、卒後の学校や同窓生同士の関わりを保つように努めており、近年では、フェイスブックを開設し、同窓生にも学校の現状や行事について発信している。
- ⑨専任担当教員を配置して就学上、生活上の支援を行っている。

## ■基準6 教育環境

### (1) 評価項目

評価項目		評価（5～1）
01	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4

02	学外実習施設、海外研修旅行について十分な教育体制を整備しているか	4
03	防災に対する体制は整備されているか	4
04	学生及び教職員の保健衛生管理は適切に実施されているか	5

## (2) 評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①施設・設備環境は教育上の必要性に十分対応できるよう整備している。
- ②学外で実施する現場実習、海外研修旅行では、実施目的、主旨等を明確にし、事前教育及び関係企業と連携し、教育指導体制を組んでいる。
- ③学外教育実施後は、実績及び教育効果を確認し、次年度の整備を進めている。
- ④学内での防災訓練は定期的実施しており、有事に備えている。
- ⑤定期的に各種法規定に即した健康診断を実施している。

## ■基準 7 学生の募集と受入

### (1) 評価項目

評価項目		評価 (5～1)
01	学生募集活動は、適正に行われているか	5
02	学生募集において教育成果は正確かつわかりやすく伝えられているか	4
03	志願者に対する問合せ、相談等に適切に対処する体制がとられているか	4
04	入学選考試験は、適正かつ公平な基準に基づき実施されているか	5
05	学納金は妥当なものとなっているか	5

## (2) 評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①学生募集活動は、全体的に適正かつ公正に行われている。
- ②学校案内書等の制作物は、事実や実績に基づいた正確な記載を心がけている。
- ③学校案内書等は、入学志願者、保護者等の立場に立ち分り易く理解し易い内容に努めている。
- ④就職実績、進路実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に記載し伝えている。
- ⑤入学志願者に対する問合せは、相手の立場に立って迅速、丁寧に行っている。
- ⑥入学選考では、受験者全員との面接を実施し、学力のみならず人物や意欲も重視している。
- ⑦学納金は、教育内容等を鑑み妥当なものであると判断する。

## ■基準 8 財務

### (1) 評価項目

評価項目		評価（５～ １）
01	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	４
02	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	４
03	財務状況について会計監査が適正に行われているか	３
04	財務情報公開の体制整備はできているか	４

## （２）評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①学校の中長期的財政基盤は安定しているといえる。
- ②事業計画等に基づき収支予算案を編成し執行している。
- ③予算と実績の差異を定期的に確認し、業務内容及び予算実績管理を適正に管理、把握している。
- ④監査法人による会計監査を適正に実施し、その報告を校長及び経営幹部に対して行っている。
- ⑤内部監査を定期的に実施し、その報告を校長及び経営幹部に対して行っている。
- ⑥財務状況は、ホームページ上で公開している。

## ■基準 9 法令等の遵守

### （１）評価項目

評価項目		評価（５～ １）
01	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	５
02	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	４
03	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	４
04	自己評価結果を公開しているか	４

### （２）評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①法令及び専修学校設置基準を遵守し、各法令に従い適正な運営がなされている。
- ②個人情報の保護については、学生、教職員、卒業生、講師等が有する個人情報のセキュリティ対策が適切に行われている。
- ③学生に対しては、個人情報取り扱いの注意喚起、啓蒙活動を適宜実施している。
- ④自己評価は、定期的に実施し、現状や実態を理解、把握し、問題点の改善に努めている。
- ⑤自己評価の評価項目のチェック、確認は、定期的に実施することとする。
- ⑥自己評価の結果は、平成２４年度実施分からホームページで公開している。

## ■基準 10 社会貢献

### (1) 評価項目

評価項目		評価（5～1）
01	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
02	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
03	地域社会との連携、協力体制をとっているか	4

### (2) 評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①非常時に備え、非難場所として施設を提供する用意がある。今後は、更に学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献は、連携、協力を含め、前向きに取り組んでいく必要がある。
- ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているが、厚生労働省指定規則に係る年間カリキュラムスケジュールの履修の関係で、実際には多くの時間を割けないのが実態である。
- ③学校の地域の近隣の方々とは、できる限り良好な関係を保つことが重要である。母恋神社祭に学園の神輿を学生と教職員が協働で出座するイベントを通じて地域の振興に貢献させて頂いている。
- ④幼稚園や地域のからの養成されるボランティア活動を通じて学校の地域社会における社会資源としての位置づけを明確なものとしている。

## ■基準 1 1 国際交流

### (1) 評価項目

評価項目		評価（5～1）
01	外国人留学生の受入れに際し、在籍管理等の手続き等は適切かどうか	5
02	外国人留学生の生活指導等は、支援体制がとられ整備されているか	4
03	海外研修旅行は、安全かつ環境面、更には教育効果を高める訪問地の決定がされているか	4
04	海外留学希望者への事前説明、フォロー体制は十分に機能しているか	4

### (2) 評価項目に対する現状、評価講評及び課題とその解決方法等

- ①外国人留学生の受入れ手続き、学籍管理等は適正に実施している。
- ②外国人留学生の生活指導は学務室スタッフとクラス担任が連携、協力し支援体制をとっている。
- ③海外研修旅行は、教育理念に基づき、希望者を対象に海外研修旅行を実施し、国際性を持つことの大切さを肌で実感させている。学生の安全を第一に、文化、歴史、観光事情、研修先の視察等、学務提携校訪問と教育効果を高める訪問先の検討を適宜実施している。
- ④海外留学希望者に対しては、海外学務提携校での短期留学から、第二学年時終了時に海外の実業の現場において研修生として研修する制度の活用を推進しており、事前教育の実施と充実した留学

生活を支援している。

以上

---

学校法人北斗文化学園  
北斗文化学園インターナショナル調理技術専門学校  
〒051-0012 北海道室蘭市山手町1丁目11番34号  
<http://www.hokuto-bunka.ac.jp/cooks/>

---